

2024 年 10 月 17 日 全 8 頁

Indicators Update

2024 年 9 月貿易統計

円高による輸出価格の鈍化で輸出金額は 10 カ月ぶりの前年割れ

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2024 年 9 月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲1.7%と 10 カ月ぶりに減少した。税関長公示レートが 3 年半ぶりに前年比で円高となり、輸出価格の伸びが鈍化した。輸出金額の季節調整値は前月比+2.0%と、輸出数量の上振れにより 2 カ月ぶりに増加した。輸入金額は前年比+2.1%と 6 カ月連続で増加したが、円高の進行を背景に伸び率は鈍化傾向にある。季節調整値では前月比▲1.2%と 2 カ月連続で減少した。貿易収支は▲2,943 億円と 3 カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲1,872 億円と 40 カ月連続の赤字だったものの、赤字幅は 8 月から大幅に縮小した。
- 7-9 月期の実質 GDP 成長率における外需寄与度はゼロ近傍を見込む。財は輸出と輸入で数量の伸びが拮抗しており、サービス収支は 7 月と 8 月の平均が 4-6 月平均をわずかに上回るにとどまった。
- 9 月の輸出数量は前月比+5.1%と 2 カ月ぶりに増加した。自動車輸出の回復が加速したほか、半導体等製造装置や集積回路(IC)といった半導体関連財が全体を押し上げた。地域別に見ると、米国向け(同+16.3%)、EU 向け(同+7.4%)、アジア向け(同+3.3%)のいずれも増加した。
- 先行きの輸出数量は均して見れば横ばい圏で推移するとみている。自動車の供給制約の緩和による挽回輸出が期待できる一方、米国における緩やかな景気減速を主因に輸出全体は伸び悩む見込みだ。中国向けでは、景気刺激策の効果で日本からの輸出が下支えされるとみている。シリコンサイクル(世界半導体市場に見られる循環)の回復は引き続き輸出の下支え要因となろう。

【貿易金額】税関長公示レートが3年半ぶりの円高となり輸出入価格ともに鈍化

2024年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲1.7%と10カ月ぶりに減少し、コンセンサス（同+0.9%、Bloomberg 調査）を下回った（図表1）。輸出価格の伸びが同+5.5%となり、7月の同+16.3%や8月の同+8.5%から鈍化したことが要因だ。税関長公示レートが144.27円/ドル（同▲1.5%）と、3年半ぶりに前年よりも円高となったことが背景にあるとみられる。輸出数量も同▲6.9%と下振れし、とりわけ自動車は米国向け（同▲18.4%）や中国向け（同▲38.2%）が低調だったが、これは前年に自動車の挽回輸出が進んだ裏の影響とみられる。瞬間風速である輸出数量全体（大和総研による季節調整値、以下同）の前月比は+5.1%と好調であるため、輸出金額の下振れは価格の伸びの鈍化によるところが大きかったと評価できよう。輸出金額全体の季節調整値は同+2.0%と2カ月ぶりに増加した（図表2左）。

輸入金額は前年比+2.1%と6カ月連続で増加したが、伸び率は鈍化傾向にある。品目別に見ると、電算機類（含周辺機器）（同+35.6%）や半導体等電子部品（同+11.4%）などが増加した一方、原油（同▲10.5%）が全体を下押しした。輸入金額全体の季節調整値は前月比▲1.2%と2カ月連続で減少した。円高の進行を受けて輸入価格の下落が継続していることが主因だ（図表2右）。

以上を受け、貿易収支は▲2,943億円と3カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲1,872億円と40カ月連続の赤字だったものの、円高による輸入金額の縮小を一因に貿易収支は8月から大幅に改善した（図表3）。

なお、7-9月期の実質GDP成長率における外需寄与度はゼロ近傍を見込む。財の輸出数量は前期比+1.0%、輸入数量は同+0.8%と拮抗していると試算される。また、サービス収支は7月と8月の平均で▲2,218億円（季節調整値）となり、4-6月平均の▲2,443億円（同）をわずかに上回った。9月の国際収支統計の結果次第ではあるものの、財、サービスともに輸出入の伸びが同程度となる見込みだ。

図表1：貿易統計の概況

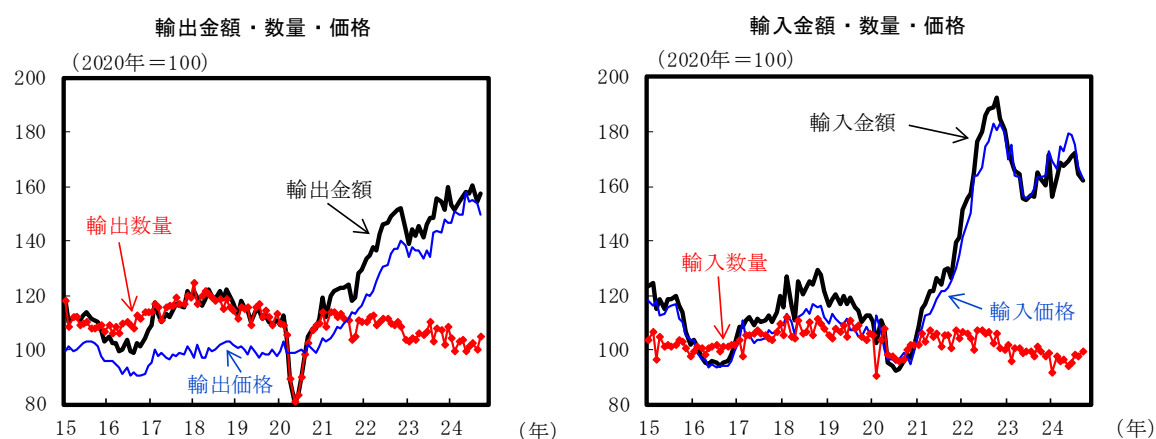
		2024年								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原系列 前年比 %	輸出金額	11.9	7.8	7.3	8.3	13.5	5.4	10.2	5.5	▲1.7
	コンセンサス									0.9
	DIRエコノミスト予想									2.1
	輸入金額	▲9.7	0.6	▲5.1	8.4	9.5	3.3	16.6	2.3	2.1
	輸出数量	2.3	▲1.5	▲2.1	▲3.2	▲0.9	▲6.2	▲5.2	▲2.7	▲6.9
	価格	9.4	9.5	9.6	11.9	14.5	12.3	16.3	8.5	5.5
	輸入数量	▲8.4	1.3	▲9.7	0.7	▲2.0	▲8.9	4.4	▲3.8	▲1.3
季節 調整値 前月比 %	価格	▲1.4	▲0.8	5.1	7.7	11.7	13.3	11.7	6.4	3.4
	貿易収支(億円)	▲17,665	▲3,830	3,824	▲4,713	▲12,230	2,194	▲6,343	▲7,032	▲2,943
	輸出金額	▲4.2	▲1.3	2.2	1.0	1.1	▲0.5	1.8	▲3.5	2.0
	数量	▲4.1	▲4.3	3.3	0.8	▲4.1	2.1	1.2	▲2.7	5.1
	価格	▲0.2	3.2	▲1.0	0.2	5.5	▲2.5	0.6	▲0.8	▲2.9
	輸入金額	▲9.1	4.7	3.2	▲0.6	1.0	1.1	0.8	▲4.8	▲1.2
	数量	▲7.0	6.5	▲1.8	0.5	▲2.7	1.6	2.7	▲0.1	1.3
税関長公示レート	価格	▲2.2	▲1.7	5.2	▲1.1	3.8	▲0.5	▲1.9	▲4.7	▲2.5
	貿易収支(億円)	▲869	▲6,125	▲7,193	▲5,702	▲5,623	▲7,086	▲6,194	▲4,720	▲1,872
	税関長公示レート	143.95	148.18	149.45	151.66	155.48	156.64	159.77	150.89	144.27

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

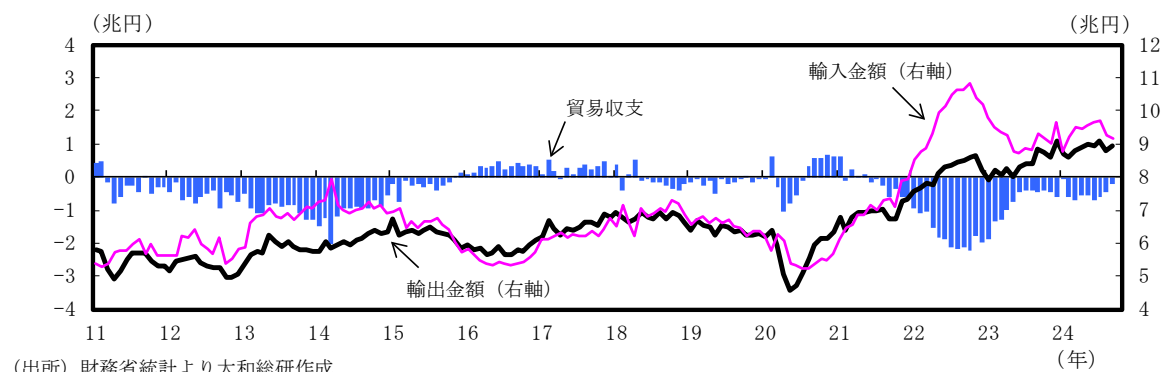
図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】供給制約の緩和により自動車輸出の回復が加速

9月の輸出数量は前月比+5.1%と2カ月ぶりに増加した。自動車輸出の回復が加速したほか、半導体等製造装置や集積回路（IC）といった半導体関連財が全体を押し上げた。なお、輸出数量は外需動向を示す OECD 景気先行指数と連動する傾向があるが、2024 年に入ってから両者に乖離が見られる（図表 4 右）。24 年中に断続的に発生した自動車の認証不正問題によって供給制約が発生し、輸出台数が下振れしたことが要因とみられる。

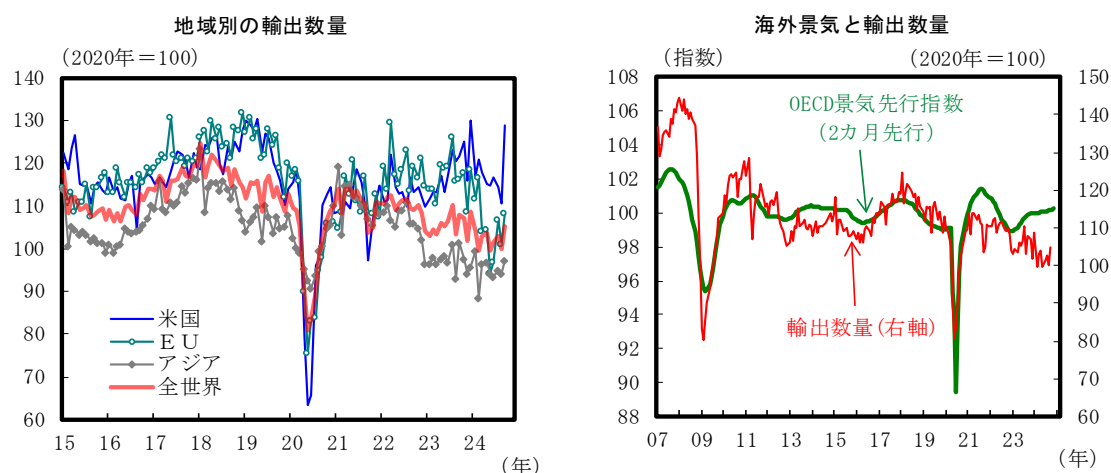
輸出数量全体を地域別に見ると、米国向け（前月比+16.3%）、EU 向け（同+7.4%）、アジア向け（同+3.3%）のいずれも増加したが、アジア向けのうち中国向け（同▲1.5%）は2カ月ぶりに減少した。

米国向けは3カ月ぶりに増加した。自動車や同部分品、鉄鋼、原動機などの自動車関連財が軒並み好調だった。自動車は2024年に入ってから減少傾向にあったが、供給制約の緩和によって足元では緩やかな回復に転じている。その他の品目では、半導体等製造装置のほか、電算機類の部分品や非鉄金属、プラスチックなどの中間財輸出が増加した。

EU 向けは2カ月ぶりに増加した。鉄鋼や自動車、二輪自動車などが増加した。自動車輸出は米国向けと同様に供給制約の緩和を受けて回復基調を辿っており、2024 年半ばに底を打ったとみられる。その他の品目では、プラスチックや電算機類の部分品、原動機などが増加した。

アジア向けは2カ月ぶりに増加した。集積回路やプラスチックがけん引役となった。他方で鉄鋼、非鉄金属、原動機などは減少しており、アジア向けの主要品目である中間財はまちまちの動きとなった。自動車や半導体等製造装置は前月から小幅な動きにとどまった。半導体等製造装置は中国向けなどが減少した一方、韓国向けなどが大幅に増加した。

図表 4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はG20ベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】米景気の緩やかな減速で日本からの輸出は伸び悩む見込み

先行きの輸出数量は均して見れば横ばい圏で推移するとみている。自動車の供給制約の緩和を受けた挽回輸出が期待できる一方、米国における緩やかな景気減速を主因に輸出全体は伸び悩む見込みだ。中国では景気の減速感が強いが、景気刺激策の効果で日本の輸出が下支えされるとみている。なお、シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復を背景とした半導体関連財への需要は堅調であり、先行きも輸出の下支え要因となろう。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは減少基調を辿るとみている。米国ではインフレ率が鈍化する一方、雇用環境の緩やかな悪化が見られる。これらを受けて連邦準備制度理事会（FRB）は9月に政策金利を0.50%pt引き下げた¹が、利下げの効果が実体経済に表れるまでには半年程度のタイムラグを伴う傾向がある。当面は雇用環境の悪化に伴う購買力の低下により、日本からの輸出が伸びにくい状況が続くだろう。

欧州向けは下げ止まるとみている。欧州中央銀行（ECB）は9月の会合で0.25%ptの追加利下げを決定した。9月のユーロ圏景況感指数（季節調整値）は96.2と前月の96.5から小幅に低下したが、均して見れば底堅く推移している。地域や産業によって景況のばらつきは大きいものの、米国より一足早く開始された利下げの効果もあって、先行きは日本からの輸出を呼び込む効果が徐々に強まる見込みだ。

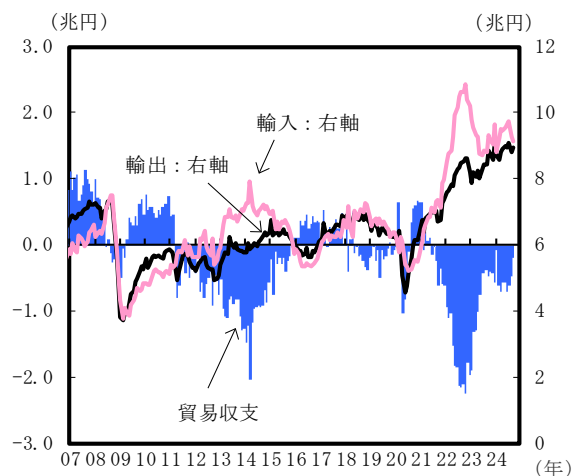
中国向けは緩やかな回復基調に転じるとみている。中国政府が7月25日に発表した内需刺激策に続き、中国人民銀行（中央銀行）の潘功勝総裁は9月24日に追加景気刺激策の実施を示唆した²。一連の施策は中国経済の減速が深刻であることを示すものの、年内は政策効果による成長率の下支えが期待される。前者の政策は消費財や資本財の需要を喚起する内容であることから、インフラ向けの資本財や船舶関連品目、家電などの日本からの輸出は底堅く推移するだろう。もっとも、こうした政策対応には需要の先食いの側面があり、先行きの反動減が懸念される。25年以降は中国景気や日本の対中輸出が減速しやすくなる点には注意が必要だ。

¹ 詳細は矢作大祐・藤原翼「[FOMC 0.50%pt の利下げを決定](#)」（大和総研レポート、2024年9月19日）を参照。

² 詳細は齋藤尚登「[中国:金融緩和など景気刺激策を発表も効果は？](#)」（大和総研レポート、2024年9月26日）を参照。

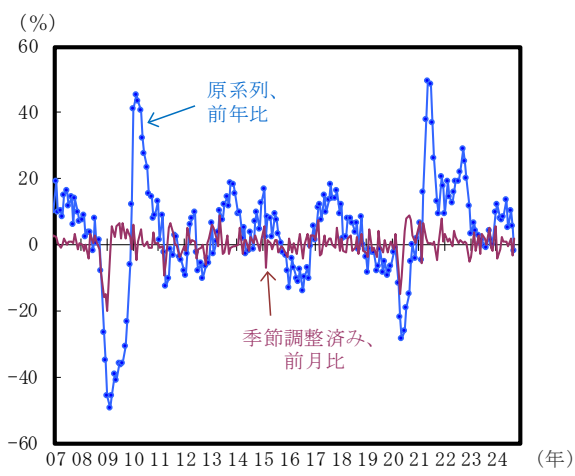
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

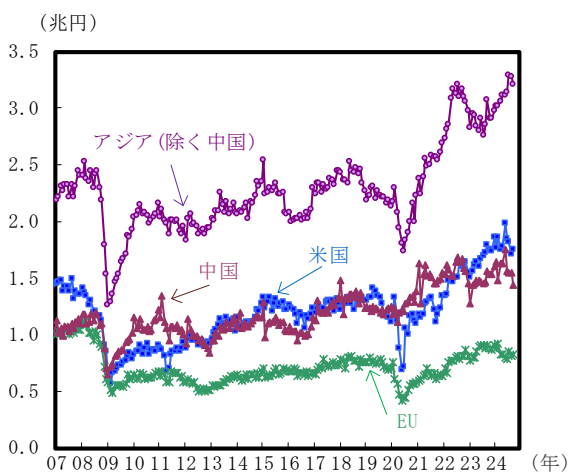


(出所) 財務省統計より大和総研作成

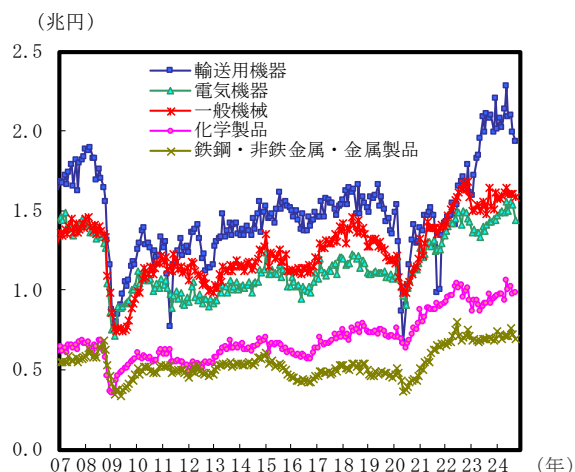
輸出額の変化率（名目）



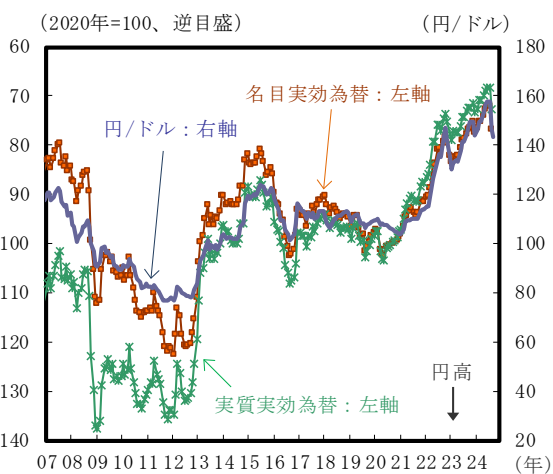
主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

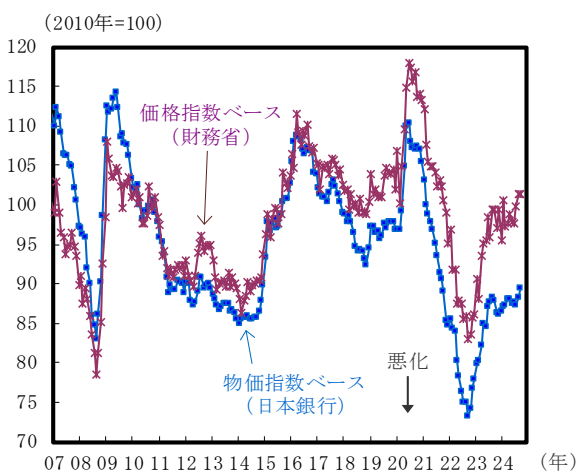
主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



為替相場

(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2024/04	2024/05	2024/06	2024/07	2024/08	2024/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.3	13.5	5.4	10.2	5.5	▲1.7	100.0	▲1.7
食料品	▲6.7	▲4.9	▲6.4	▲5.0	4.2	10.9	1.1	0.1
原料品	17.7	17.1	16.1	17.2	7.1	▲10.7	1.4	▲0.2
鉱物性燃料	16.6	▲13.0	9.2	8.6	7.6	▲49.8	1.0	▲1.0
化学製品	3.2	22.7	12.2	11.9	6.7	1.3	10.9	0.1
原料別製品	6.1	7.0	4.4	10.7	5.7	▲0.3	11.0	▲0.0
鉄鋼	▲2.4	▲3.2	▲8.1	10.3	▲0.7	▲5.7	3.9	▲0.2
非鉄金属	17.7	17.6	22.0	13.5	13.4	4.0	2.5	0.1
金属製品	9.3	11.0	7.1	8.7	7.9	1.1	1.3	0.0
一般機械	5.7	9.8	3.5	5.0	7.9	▲3.3	17.6	▲0.6
電気機器	8.5	16.9	7.4	14.2	8.7	0.8	17.3	0.1
半導体等電子部品	20.4	24.0	7.0	25.2	15.0	10.1	6.1	0.6
I C	30.1	32.2	8.4	33.6	19.3	19.3	4.8	0.8
映像機器	10.7	1.1	▲7.1	14.1	▲7.2			
映像記録・再生機器	▲1.4	4.7	5.0	20.1	▲3.6	▲8.7	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	0.5	18.7	▲8.9	▲2.6	0.9	▲20.0	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	1.0	8.4	2.3	4.6	6.3	▲8.5	2.0	▲0.2
輸送用機器	15.9	16.9	0.8	5.7	▲5.1	▲7.5	22.8	▲1.8
自動車	17.8	13.6	2.3	6.2	▲9.9	▲9.2	16.6	▲1.6
自動車の部分品	6.9	10.9	3.2	4.4	▲0.4	▲14.0	3.6	▲0.6
その他	5.4	12.1	8.4	18.8	14.4	9.5	16.9	1.4
科学光学機器	▲1.3	3.4	13.0	12.4	17.0	4.8	2.6	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2024/04	2024/05	2024/06	2024/07	2024/08	2024/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.8	23.9	11.0	7.3	▲0.7	▲2.4	100.0	▲2.4
食料品	20.5	26.5	12.1	▲4.8	1.0	18.7	1.1	0.2
原料品	2.0	0.1	22.4	24.2	166.2	▲12.6	0.5	▲0.1
鉱物性燃料	▲55.2	▲40.3	▲68.3	▲66.7	▲92.0	▲87.7	0.1	▲0.4
化学製品	▲13.1	46.3	18.7	▲3.7	▲6.0	▲7.4	7.2	▲0.6
原料別製品	5.2	8.3	11.1	1.8	▲2.9	1.7	6.6	0.1
鉄鋼	4.5	▲5.8	19.8	▲1.0	▲1.2	14.8	1.7	0.2
非鉄金属	▲4.6	11.8	10.7	0.0	▲8.8	3.6	0.9	0.0
金属製品	21.1	28.7	22.4	11.9	8.4	3.6	1.4	0.0
一般機械	1.3	13.1	6.8	10.5	6.5	▲4.7	22.5	▲1.1
電気機器	0.0	24.0	16.0	11.7	10.8	4.1	13.4	0.5
半導体等電子部品	2.4	18.9	11.9	▲1.7	2.8	▲5.1	1.2	▲0.1
I C	▲6.0	13.0	5.5	6.5	4.5	2.7	0.6	0.0
映像機器	▲38.4	▲17.4	▲28.3	▲3.7	3.0			
映像記録・再生機器	▲28.6	▲5.4	▲9.5	12.1	4.7	▲16.2	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	14.6	18.3	▲13.2	▲10.6	▲0.5	▲5.3	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	5.4	10.6	1.9	▲3.4	16.3	▲10.7	1.1	▲0.1
輸送用機器	25.5	35.8	10.0	5.8	▲9.1	▲15.2	33.2	▲5.8
自動車	26.0	34.0	9.3	4.3	▲14.2	▲18.9	25.9	▲5.9
自動車の部分品	20.6	38.4	20.8	14.6	1.5	2.5	5.4	0.1
その他	7.0	13.3	15.7	14.3	2.0	45.1	15.4	4.7
科学光学機器	3.2	5.7	25.0	27.9	35.4	5.5	2.6	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2024/04	2024/05	2024/06	2024/07	2024/08	2024/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.0	▲10.1	▲13.4	▲5.3	▲9.1	▲9.0	100.0	▲9.0
食料品	18.8	41.3	6.7	23.3	33.0	36.3	0.7	0.2
原料品	41.2	22.7	8.9	11.5	22.0	44.9	1.1	0.3
鉱物性燃料	▲29.2	▲90.0	▲47.5	▲45.7	47.6	▲28.7	0.0	▲0.0
化学製品	1.9	15.2	13.4	4.4	0.6	2.3	12.1	0.2
原料別製品	13.2	▲27.0	▲19.2	12.6	▲12.4	▲12.5	8.1	▲1.1
鉄鋼	44.8	▲61.2	▲49.5	59.6	▲49.0	▲43.9	2.0	▲1.4
非鉄金属	▲23.7	▲34.3	▲23.2	▲32.3	▲7.2	▲11.3	1.0	▲0.1
金属製品	5.8	3.7	▲3.6	0.7	▲5.8	▲9.1	1.3	▲0.1
一般機械	▲17.8	▲19.8	▲17.3	▲19.9	▲18.0	▲21.6	18.0	▲4.5
電気機器	▲6.1	4.9	2.3	▲0.4	▲3.4	▲9.8	16.2	▲1.6
半導体等電子部品	▲17.0	1.7	▲3.4	5.7	▲15.7	▲16.0	2.2	▲0.4
I C	▲28.2	▲16.9	▲20.9	▲10.5	▲24.9	▲29.7	0.7	▲0.3
映像機器	20.3	12.4	11.0	28.9	▲9.0			
映像記録・再生機器	34.8	15.2	18.5	44.4	3.7	▲9.8	1.0	▲0.1
音響・映像機器の部分品	27.8	42.0	28.8	▲11.3	25.4	▲11.2	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	▲15.7	▲10.0	▲0.3	▲9.0	▲11.9	▲16.3	1.4	▲0.3
輸送用機器	▲0.7	▲28.1	▲34.6	▲16.4	▲19.0	▲7.7	26.7	▲2.0
自動車	7.4	▲36.9	▲38.6	▲17.3	▲22.6	2.5	19.4	0.4
自動車の部分品	▲8.7	▲7.7	▲8.6	▲10.9	▲7.8	▲29.0	3.9	▲1.5
その他	9.6	13.3	1.7	16.1	6.9	▲3.3	17.0	▲0.5
科学光学機器	10.1	3.4	11.8	12.6	15.1	▲5.8	4.3	▲0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2024/04	2024/05	2024/06	2024/07	2024/08	2024/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.7	13.6	7.7	15.1	11.4	0.3	100.0	0.3
食料品	▲16.0	▲16.4	▲14.3	▲11.8	1.3	8.0	1.4	0.1
原料品	15.8	17.4	14.8	14.6	▲3.9	▲14.8	2.1	▲0.4
鉱物性燃料	60.2	▲16.9	▲7.3	28.4	51.9	▲30.0	1.4	▲0.6
化学製品	5.5	17.1	11.0	13.2	8.5	1.4	14.3	0.2
原料別製品	8.9	11.4	7.9	10.7	10.5	2.8	14.0	0.4
鉄鋼	▲2.5	3.1	▲4.9	6.6	6.3	▲0.0	5.1	▲0.0
非鉄金属	25.1	21.7	23.5	15.6	17.0	6.4	4.1	0.2
金属製品	8.7	8.6	10.5	9.7	11.3	1.3	1.4	0.0
一般機械	11.7	17.1	8.1	9.4	18.7	4.4	17.6	0.7
電気機器	13.2	16.5	4.4	17.7	10.8	1.9	22.5	0.4
半導体等電子部品	24.1	25.8	6.9	27.7	16.6	12.6	10.7	1.2
I C	33.6	34.2	8.9	35.6	20.8	21.2	8.7	1.5
映像機器	19.0	▲2.9	▲11.2	8.7	▲15.7			
映像記録・再生機器	▲7.1	▲0.2	4.2	10.0	▲14.4	0.1	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	9.3	29.4	▲6.8	▲1.3	0.8	▲20.0	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	2.2	9.7	1.8	6.9	7.9	▲7.0	2.9	▲0.2
輸送用機器	20.8	12.4	15.7	23.0	▲1.1	▲15.7	7.5	▲1.4
自動車	28.5	23.0	28.0	28.4	▲10.6	▲17.3	4.3	▲0.9
自動車の部分品	▲0.0	▲5.1	▲2.9	0.3	▲0.0	▲22.5	2.5	▲0.7
その他	1.8	12.0	6.7	20.9	14.8	4.3	19.1	0.8
科学光学機器	▲6.4	1.3	11.0	8.1	11.6	7.5	2.8	0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2024/04	2024/05	2024/06	2024/07	2024/08	2024/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.6	17.8	7.2	7.2	5.2	▲7.3	100.0	▲7.3
食料品	▲56.8	▲55.8	▲60.6	▲49.1	▲36.9	▲3.5	0.6	▲0.0
原料品	26.9	21.6	6.5	2.1	▲19.5	▲28.4	2.4	▲0.9
鉱物性燃料	▲7.6	▲9.8	23.9	▲45.8	87.4	▲65.6	0.7	▲1.2
化学製品	6.1	15.3	8.0	10.1	0.3	▲0.9	17.5	▲0.1
原料別製品	15.4	30.8	20.6	10.7	2.1	▲4.4	10.9	▲0.5
鉄鋼	2.4	12.4	3.2	5.7	▲1.5	▲10.4	2.4	▲0.3
非鉄金属	31.4	74.1	47.7	11.8	0.8	▲1.4	4.0	▲0.1
金属製品	6.4	4.5	18.1	15.7	10.4	▲3.7	1.4	▲0.1
一般機械	20.5	37.7	5.2	3.8	23.2	1.8	25.4	0.4
電気機器	7.4	5.9	▲0.8	9.6	3.1	▲4.9	21.7	▲1.0
半導体等電子部品	17.1	3.0	▲4.6	4.0	2.8	3.2	7.3	0.2
I C	22.0	1.9	▲5.5	8.8	4.7	8.8	5.4	0.4
映像機器	24.7	9.9	0.2	3.9	▲13.3			
映像記録・再生機器	▲10.6	▲10.8	▲2.2	14.0	▲19.8	20.1	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲10.1	24.0	▲6.8	9.3	16.1	▲11.9	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	5.9	13.1	2.0	14.3	11.6	▲8.9	3.4	▲0.3
輸送用機器	22.5	12.4	17.3	9.6	▲19.9	▲35.5	7.5	▲3.8
自動車	36.0	23.4	25.1	10.2	▲30.9	▲40.3	4.8	▲3.0
自動車の部分品	▲3.4	▲12.8	▲5.1	5.0	3.0	▲28.6	2.3	▲0.9
その他	▲4.3	10.8	12.6	11.4	12.2	▲1.2	13.3	▲0.1
科学光学機器	13.0	21.0	12.4	21.1	24.4	6.5	3.9	0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成